



あした

明日もしあわせ通信(第72号) 令和4年6月号

セカンドライフを充実させて健康の保持増進を！！

私は、38年間の教員生活を終え、定年後2年目を迎えています。昨年5月から適応指導教室（はばたき教室）に勤務していますが、大学同期の親友のセカンドライフは多種多様です。故郷で農業を始めて自給自足の生活を送り、その様子をYouTubeに投稿しているA氏、親の介護と家事に徹するB氏、年金を早期受給して自由気ままに過ごすC氏、フルタイムの再任用として教員生活を続けるD氏など、それぞれが充実した毎日を送っているようです。再会できる日を楽しみにしています。

私は、平成5年度～7年度の3年間、愛媛県総合運動公園で勤務し、昼間・夜間のスポーツ教室の指導員としてテニス・バドミントン・卓球・バレーボール・健康づくり等の支援に当たりました。私にとって初めて経験する社会体育でした。教室生の皆さんは、子どもが幼稚園・学校に行っている昼間や仕事を終えての夜間に参加されていました。その目的は、主に競技の技能向上と健康の保持増進です。私は、回を重ねるごとにストロークやショットが上達したり、気持ちのいい汗をかいてリフレッシュしながら仲間とのコミュニケーションを楽しんだりする皆さんを目の当たりにし「自分も定年になったら通室しよう。」と思いました。同期生の現況を知る中で、ふとスポーツ教室のことを思い出しました。「生涯スポーツ」が推奨されている今日、ぜひ実現して豊かなセカンドライフに繋げていきたいと思います。 (T・S)



～はばたき教室～（本当の幸せとは・・・？）

先日、子どもが田んぼのあぜ道で四つ葉のクローバーを見つけて持ってきた。四つ葉のクローバーは「幸せを運ぶ」と言われていて、四つ葉には、一枚一枚に意味がある。

1枚目、「誠実」（うそをつかないこと） 2枚目、「希望」（夢をもつこと）
3枚目、「愛」（人にやさしくできること） 4枚目、「幸運」（いいことがあること）
と言われている。

四つ葉は10万枚に1枚しか見つけられないため、「四つ葉のクローバーを見つけると幸せが訪れる」と言い伝えられている。四つ葉のクローバーができるのは、三つ葉のクローバーの葉が若い芽のうちに道ばたや広場など、人によく踏まれるところにできやすいと言われている。

本当の幸せとは何か。・・・「踏まれてこそ強くなり、幸せが訪れる。」とクローバーが教えてくれている。子ども達が困難にぶつかった時、それを乗り越えると本当の幸せがくることをクローバーから学んで欲しい。



汝の隣人を愛せよ

2022年2月24日に突然開始された、ロシアによるウクライナ侵攻とその悲惨な状況を目の当りにして、私の心に強く浮かんだのは「汝(なんじ)の隣人を愛せよ」というイエス・キリストの言葉(新約聖書マタイ伝)であった。

この言葉の意味は、「自分自身のことだけを考えずに、周りの人々にも愛情をもって接しなさい。」ということですが、毎日のように報道されるウクライナの情報の中で最も痛ましく感じることは、多く子どもたちの大切な命やその未来が情け容赦なく奪われ続けているという現状です。どうか一刻も早くこの戦争が終結することを願い、祈り続ける毎日です。

そして改めて思うのは、今の平和な日本に暮らし、食べ物にも困ることなく生活していけることが、決して『当たり前』ではなく、非常に恵まれているということです。

どうか皆さんも、世界平和への第一歩として自分の家族や周りの人に、思いやりや愛情をもって接していただきたいとします。以上「ことわざシリーズ⑥」でした。(E・F)



《センター長のつぶやき》

“卒寿を祝う”

今年も母の誕生日を祝った。卒寿である。娘だけは横浜からのリモート参加。母は、皆の祝いの帽子や服を着て嬉しそうであった。

次の日、丸山公園(しゃくなげ谷)から梶原へ出て昼食。晴れ渡った五段高原にあがり中津の芝桜を見て、久万の実家に母を送った。

道中の谷では、手をつないだ母が、下に歩くのをためらった。「降りたら上がらないかんけんおりん」と。「大丈夫。下に車をもってくるけん」と伝えると何となく聞こえたのであろう歩みをすすめ始めた。

畑仕事でも1人では重い肥料など持てない。容器に少しずつ入れて先ほど植えた、ジャガイモに肥料をやる。ほとんど人に配るために作っている。もうやめてほしいと思うのだが、母の背をみると声には出せない。

白寿・紀寿(百寿)と皆で祝いたいと只々願うばかりである。(DOIG)



《巡回発達相談》

「どうしたの?お口で話してみて。」

新学期になってしばらくは慣れない環境で、トラブルになったり、寂しくなったりで泣いてしまう子がいます。その時に先生方はそばに寄って優しく声をかけています。

Aちゃんが、しくしく泣いているところに園長先生が優しく声をかけました。穏やかで優しい問いかけにとつとつと気持ちを話せたそうです。彼女は恥ずかしいのと自信がないのとで巡回の時に声を聞いたことがほとんどありませんでした。気持ちを話せたことで心がすっきりしたことでしょう。

じっくりとゆったりと話を聞いてもらえる経験が自信に繋がります。聞いてもらえる大人がそばにいるのは幸せですね。(A)



伊予市子ども総合センター
〒799-3127 伊予市尾崎 3-1
伊予市総合保健福祉センター2階
☎ 989-6226

